

# 2016年3月期 決算報告 個人投資家の皆さまへ

一生運のパートナー

第一生命

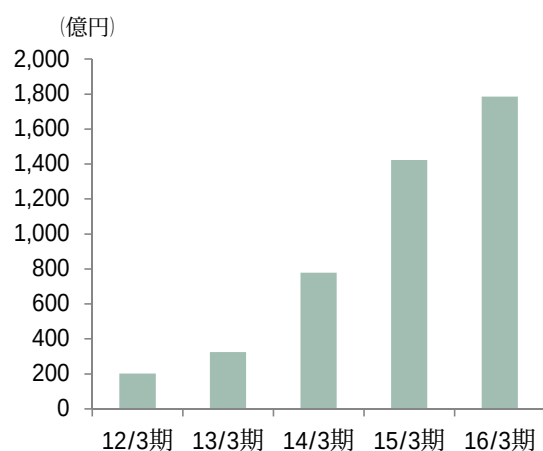
第一生命保険株式会社

証券コード: 8750

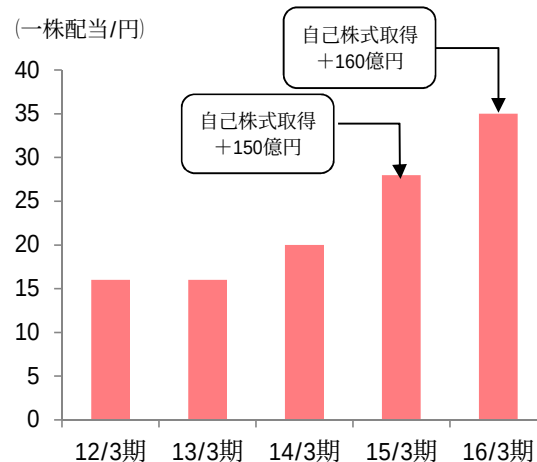
## 2016年3月期 決算のポイント

- 2016年3月期の親会社株主に帰属する純利益（以下、連結純利益）は5期連続で上場来最高を更新しました。第一フロンティア生命が黒字化したことや、米国プロテクトティブ社（以下、プロテクトティブ）が当期から連結対象となったことが主な要因です。株主配当は前年比7円増配となる一株あたり35円を予定し、合わせて160億円を上限とする自己株式取得を発表しました。
- 第一生命単体では主力商品に販売がシフトし、医療保険など第三分野の販売が拡大しました。第一フロンティア生命では、外貨建て保険商品の販売が堅調に推移し、海外子会社についても高い伸びが続きました。
- 2017年3月期の業績は、貯蓄性商品の販売をコントロールしていることから減収を見込んでいますが、海外子会社の利益貢献もあって、連結純利益は更なる増益を予想しております。株主配当についても増額し、一株当たり40円を予想しています。

連結純利益



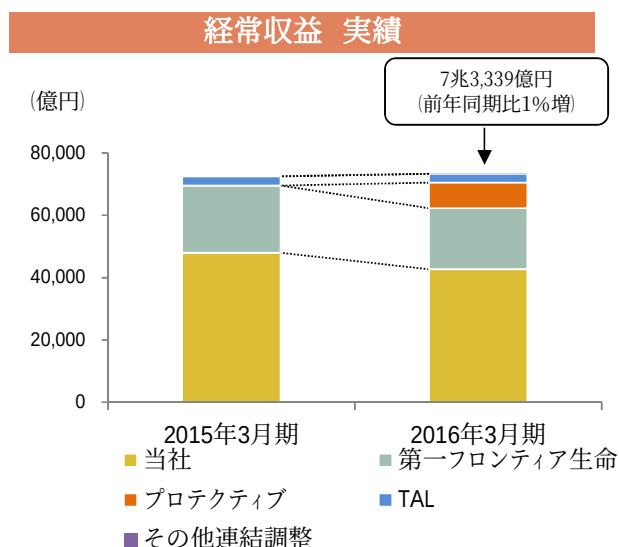
株主還元



### (1) 経常収益

連結経常収益は7兆3,339億円（前年同期比1%増）となりました。

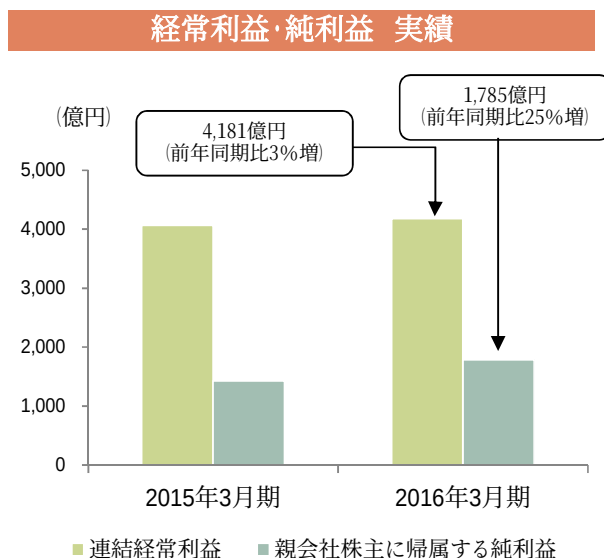
当期よりプロテクティブが連結対象となったことが、増収の主な要因です。



### (2) 経常利益・純利益

連結経常利益は4,181億円（前年同期比3%増）、連結純利益は1,785億円（前年同期比25%増）となりました。

第一生命単体では、運用利回りが改善し、順ざやを維持しました。また、第一フロンティア生命において、外国金利変動に伴う費用負担の減少や、プロテクティブが連結対象となったことも増益に大きく寄与しました。

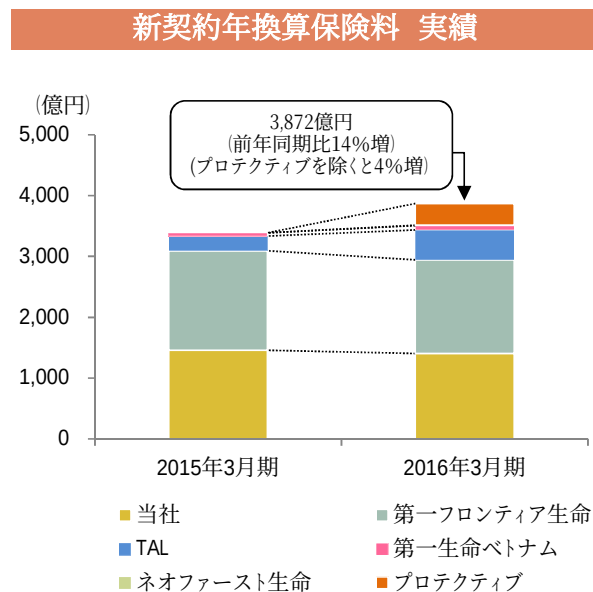


### (3) 新契約の状況

新契約を1年あたりの保険料に換算した新契約年換算保険料は、第一生命単体（個人保険・個人年金保険）、第一フロンティア生命、ネオファースト生命(※)、プロテクティブ(※)、オーストラリアTAL社（以下、「TAL」）、第一生命ベトナムの6社合算で、3,872億円となりました。

第一生命単体では、主力商品や第三分野商品の販売が伸展しましたが、一時払商品の販売減により前期比で3.4%の減少となりました。第一フロンティア生命では、引き続き高水準を維持しています。TALは、団体保険事業における大型団体の契約獲得が新契約拡大に貢献しております。

(※) ネオファースト生命の実績は2014年7月以降を対象として記載しています。また、プロテクティブの実績は、2015年2月～12月の11ヶ月分を、2016年3月期の実績として記載しています。

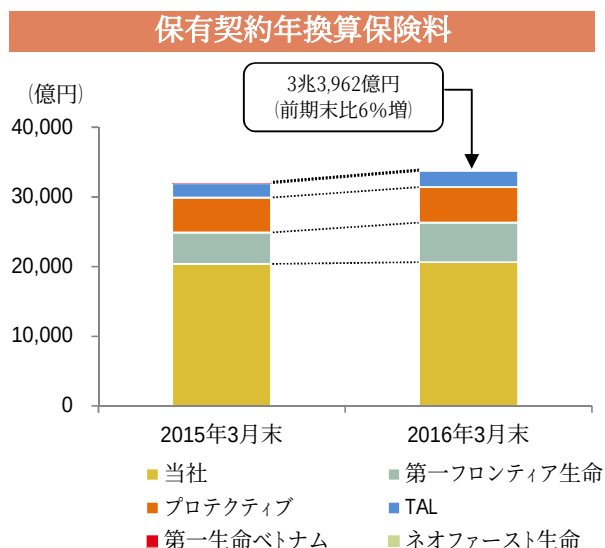


#### (4) 保有契約の状況

保有契約を1年あたりの保険料に換算した保有契約年換算保険料は、第一生命単体（個人保険・個人年金保険）、第一フロンティア生命、ネオファースト生命、プロテクティブ(※)、TAL、第一生命ベトナムの6社合算で、3兆3,962億円（前期末比6%増）となりました。

第一生命単体の保有契約年換算保険料は、前期末比で1%増、うち医療・介護分野では同4%増となりました。第一フロンティア生命は同25%増、プロテクティブは円換算で2%増、TALは円換算で同11%増となりました。

(※) プロテクティブの実績は2015年2月1日時点、2015年12月末時点のものを、それぞれ2015年3月末、2016年3月末の実績として記載しています。



#### (5) 含み損益

第一生命単体の一般勘定資産の含み損益（2016年3月末）は、6兆3,346億円となりました。

前期末と比較すると、主に国内における金利低下により国内債券の含み益が増加しました。一般勘定資産全体では前期末比で7,839億円の増加となりました。

含み損益 (当社単体、一般勘定)

(億円)

|        | 2015年<br>3月末 | 2016年<br>3月末 | 増減      |
|--------|--------------|--------------|---------|
| 有価証券   | 54,917       | 62,120       | +7,203  |
| うち国内債券 | 22,368       | 40,229       | +17,861 |
| うち国内株式 | 17,856       | 13,128       | △4,728  |
| うち外国債券 | 10,116       | 6,787        | △3,329  |
| うち外国株式 | 3,892        | 1,720        | △2,171  |
| 不動産    | 755          | 1,303        | +547    |
| その他共計  | 55,507       | 63,346       | +7,839  |

#### (6) ソルベンシー・マージン比率<sup>(注)</sup>

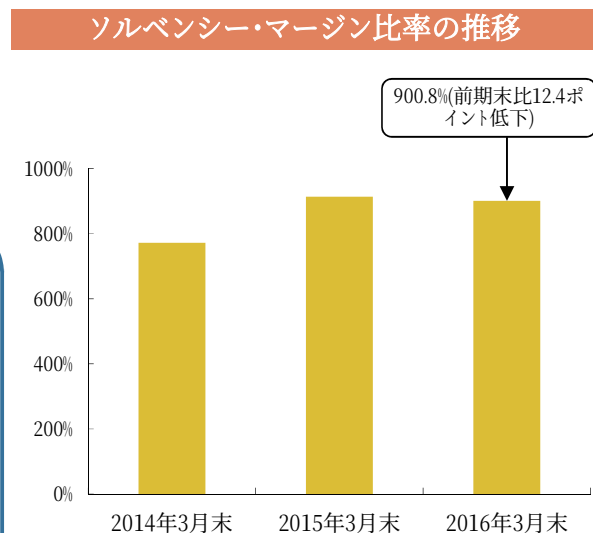
第一生命単体のソルベンシー・マージン比率（2016年3月末）は、円高や国内外の株価下落などにより、前期末比12.4ポイント低下し、900.8%となりました。

(注) ソルベンシー・マージン比率とは？

ソルベンシー・マージン比率とは、通常の予測を超えて発生するリスクに備えて「支払余力」がどの程度カバーされているかを示す行政監督上の指標のひとつです。

具体的には、生命保険会社が抱える保険金等のお支払いに係るリスクや資産運用に係るリスクなど、多様なリスクが通常の予測を超えて発生した場合、資本などの内部留保と有価証券含み益などの合計（ソルベンシー・マージン総額）で、これらリスク（リスクの合計額）をどの程度カバーできているかを指数化したものです。

同比率の算出は、ソルベンシー・マージン総額をリスクの合計額で割り算して求め、同比率が200%以上であれば、健全性についてひとつの基準を満たしていることを示しています。



## (7) エンベディッド・バリュー (EV) <sup>(注)</sup>

今期より、超長期における金利の設定方法を変更しております。前期の数値については再評価をおこなっております。

第一生命グループのEV (2016年3月末) は、前期末に比べ1兆3,415億円減少し、4兆6,461億円となりました。

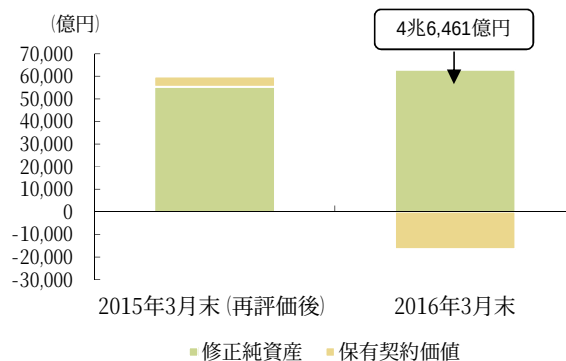
前期末比でEVが減少した要因は、主に国内金利が低下したことによるものです。

(注) エンベディッド・バリュー (EV) とは？

当社グループは市場における当社の企業価値を測る指標として、EVを開示し、その向上に努めています。

現行の生命保険会社の法定会計では、新契約獲得から会計上の利益の実現までに時間がかかります。通常は契約の初期に販売手数料等の費用の大部分が発生する一方で、生命保険の契約は20年、30年と非常に長期にわたるため、時間の経過とともに収益が発生し、長期間で収益を上げる仕組みとなっています。EVでは、この将来にわたる利益貢献を現時点に割り戻して認識するため、法定会計による財務情報を補強することができると考えられています。

## エンベディッド・バリュー (EV)

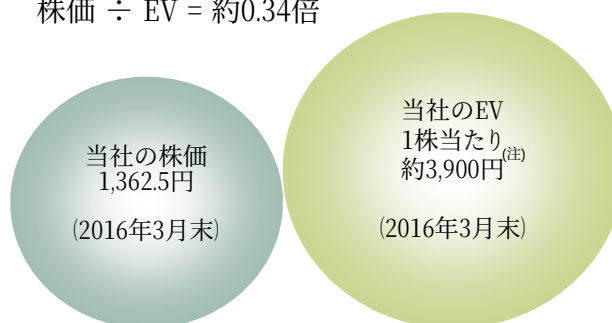


## (8) 株価EV倍率

株価をEVで割って求めた株価EV倍率 (2016年3月末) は、約0.34倍となりました。

## 株価EV倍率 (2016年3月末)

$$\text{株価} \div \text{EV} = \text{約}0.34\text{倍}$$



(注) 当社の1株当たりEVは、当社グループのEV4兆6,461億円 (2016年3月末) を、当社の発行済株式数約12億株で除して算出したものです。

## (9) 業績予想

経常収益は、第一生命単体および第一フロンティア生命において貯蓄性商品の販売をコントロールしていることから、減収を見込んでいます。

連結純利益については、第一生命単体において、追加責任準備金の集中繰入期間が終了したことや、プロテクトティブによる保険ブロック買収の利益貢献など、海外事業の順調な利益拡大を見込み、増加予想としております。

株主配当については、2016年3月期の1株当たり配当案35円から引き上げ、2017年3月期の配当予想を40円としました。

## 連結業績予想

|                | 2016年3月期<br>(実績) | 2017年3月期<br>(予想) | (億円)    |
|----------------|------------------|------------------|---------|
|                |                  |                  | 増減      |
| 経常収益           | 73,339           | 64,600           | △ 8,739 |
| 経常利益           | 4,181            | 4,060            | △ 121   |
| 純利益(※)         | 1,785            | 1,970            | +184    |
|                |                  |                  | (円)     |
| 1株当たり(※)       |                  |                  |         |
| 純利益            | 151              | 166              | +16     |
| 1株当たり<br>期末配当金 | 35               | 40               | +5      |

(※) 本表における純利益とは、親会社株主に帰属する当期純利益をさします。また、1株当たり純利益の計算に際しては、株式給付信託(J-ESOP)により信託口が所有する当社株式及び信託型従業員持株インセンティブ・プラン(E-ship<sup>®</sup>)により第一生命保険従業員持株会専用信託が所有する当社株式を除いています。

## 免責事項

本資料の作成にあたり、当社は当社が入手可能なあらゆる情報の正確性や完全性に依拠し、それを前提としていますが、その正確性または完全性について、当社は何ら表明または保証するものではありません。本資料に記載された情報は、事前に通知することなく変更されることがあります。本資料およびその記載内容について、当社の書面による事前の同意なしに、第三者が公開または利用することはできません。

将来の業績に関して本資料に記載された記述は、将来予想に関する記述です。将来予想に関する記述には、これに限りませんが「信じる」、「予期する」、「計画」、「戦略」、「期待する」、「予想する」、「予測する」または「可能性」や将来の事業活動、業績、出来事や状況を説明するその他類似した表現を含みます。将来予想に関する記述は、現在入手可能な情報をもとにした当社の経営陣の判断に基づいています。そのため、これらの将来に関する記述は、様々なリスクや不確定要素に左右され、実際の業績は将来に関する記述に明示または黙示された予想とは大幅に異なる場合があります。したがって、将来予想に関する記述に依拠することのないようご注意ください。新たな情報、将来の出来事やその他の発見に照らして、将来予想に関する記述を変更または訂正する一切の義務を当社は負いません。